

山東ゴルフフェス☆2022

チームスクランブルゴルフ選手権 決勝大会

令和4年9月21日（水曜日）

<競技規則・競技方法>

【競技規則】

1. ゴルフ規則

日本ゴルフ協会ゴルフ規則及び山東CCローカルルールを適用する

2. プレーの条件

スクランブル方式・18ホールストロークプレー／乗用カートセルフプレー

〔男性〕 6,561Y 青マークティ 〔70歳以上男性〕 6,256Y 白マークティ

〔80歳以上男性〕 5,576Y 緑マークティ可 〔女性〕 4,975Y 赤マークティ可

3. ホールとホールの間での練習

競技者はプレーを終えたばかりのホール（カップインした時点）のグリーン上や、その近くではどのような練習ストロークをしてはならない。この条件の違反の罰は、次のホールに2打、最終ホールにおいてはそのホールに2打が付加される。但し、9ホールを終了して待ち時間のある場合は、指定練習グリーンにおいてパッティングの練習をすることができる。

4. タイスコアの場合

18ホール終了後、最終順位にタイスコアが生じた場合は次の通りとする。

①イーグル数 ②バーディー数の多い順から上位を決定する。

それでも決定しない場合は③18番ホールからのカウントバックにより確定する。

5. 距離計測器の使用

高低差表示機能を含む距離計測器の使用を認める。

6. チーム内（4人）の1人が途中棄権した場合

残りの3人で5ホールのティショット選択をクリアしてホールアウトすること。

7. 険悪な気象条件の場合

悪天候により競技続行が不可能と主催者が判断した場合、9ホール競技に変更、又は中止とする。尚、9ホールにて競技成立の場合は「1人最低4ホールのティショットを選択する」という制限は適用しないものとする。

8. その他

ローカルルールに追加・変更がある場合はクラブハウス内に掲示するものとする。

【注意事項】

○クラブハウス館内では必ずマスクを着用してください（プレー中は任意とします）

○当日37.5℃以上の熱がある場合や体調に異変のある場合は参加を見合わせてください

○当日の受付前にアルコール消毒と検温にご協力ください

【競技方法】

スクランブル方式による 18 ホールストロークプレー

全員がティショット（下記参照）を打つ。セカンドショット以降はその中からチームとしてベストポジションと思われるボールを選択し、その地点（選択されなかったボールはすみやかに各自がピックアップし、その地点へ持ってくる）から、また全員が打つ。それをカップインするまで繰り返していく競技システム。

〈1〉ティショットの制限

ティショットにおいては、18 ホールの内、1 人最低 4 ホール（4 ホール×4 人＝16 ホール）を選択しなければならない（3 名プレーの場合は 1 人最低 5 ホールとする）。2 ホール（3 名の場合は 3 ホール）は、チーム内の誰のティショットを選択しても構わない。ホールアウトの時点でこの条件をクリアできなかった場合は、1 ホールにつき 2 打罰とする。

注1) 第 1 打において全員が「OB」の場合は、まず誰のボールを選択したかを確認したうえで、第 3 打目として全員がティショットをしてください（前方特設ティは使用しない）。

注2) 第 1 打において全員が「ペナルティーエリア」に入った場合は、まず誰のボールを選択したかを確認したうえで、1 打罰を付加しペナルティーエリアの処置によりプレーを再開してください（OUT2 番ホールにおいてはドロップエリアを使用することができる）。

〈2〉ティショット～グリーン

ティショットは全員が定められたティで打つ。セカンドショット以降は全員の中から 1 つのボール（チーム内で考えたベストポジション）を選択し、その地点にティペッグ（マーク）を置く。そのマークを中心にカップに近づかない半径 30 cm の半円内に自分のボールをプレース（良いライにおくこと可。ボールは拭くことができる）して全員が打つ。打順はチーム内で決める。選択されたボールのプレーヤーが先に打つ必要はなく、チーム内の順番は自由。それをグリーンオンまで繰り返す。セカンドショット以降は誰のボールを選択しても構わず縛りはない。

注1) 選択されなかったボールは、各自がすみやかにピックアップする。

注2) ラフにあるボールを選択したらラフに。バンカーならバンカーにプレースする。バンカーの場合は、ショットごとに砂を均すことができる。

注3) ティペッグ（マーク）は最後の選手が打つまでその場に置いておくこと。

〈3〉グリーン上

グリーン上では、選んだボールにマークする。そのマークはカップに向かってボールの右側にする。そして、カップ方向へ近づかない半径 6 インチの範囲内にプレースをし、順番にパッティングする。チーム内ではプレーヤーの後方線上に立ち、ラインを確認することができる。打順はチーム内で決める。はずした時は、近くても続けてパッティングせず、必ずマークして次の人に譲ること。チーム内の誰かがカップインすればホールアウトとし、スコアが確定する。

注1) 選択されたボールのマークは、最後の選手が打つまでその場に置いておくこと

注2) 練習ストローク（ホールアウト後も同様）は禁止。発覚した場合は 2 打罰となる。